
魔法少女リリカルなのはStrikerS Devil cry night

月森 和樹

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

魔法少女リリカルなのはStrikers Devil cry
night

【Nコード】

N4970Z

【作者名】

月森 和樹

【あらすじ】

ここはミッドチルダのクラナガンのスラム街のような場所にあるレストラン【Devil May Cry】
薄暗い建物、スラム街、そして明かりがついていることから、幽霊屋敷とも言われている。
おや？ 誰か来たようだ

プロローグ？（前書き）

やっとStrikersに入っていきます

ブローグ?

?????

「ギヤアアアア!!!」

「クソオオオオ!!!」

「イヤアアアア!!!」

紅き髪の青年がどんどん老若男女を切り刻んでいった。そこには、有り得ないものがあつた。干渉莫耶、斬魂刀、エクスカリバーだけではなく、魔物や機械などが残骸と化した。だが、青年は気にせずその中を駆けて目の前の扉を蹴り上げる。そこには……血を出した老人がいた。すぐに青年は近寄ると脈があることを確認する。

「おい、じいさん。 いや………ゼウス、起きろ」

「う………うん。 おお、オーディンか………久しいの……」

だが、意識が朦朧としているためもう長くない。

「いや、違う。 俺はオーディンの息子で、昔あんたに殺された子供だ」

「………!!! そうか! そうなのか………すまないの、あまりにも似ていた………いや、同じだから間違えてしまったわい」

「そうツール様にも言われました」

「そう…思っじゃろつな…名を…何という」

「カサエルです。 カサエル・R・オーディン」

「そうか…それならカサエル、我が息子…アレスを止めてくれ
…やつは…この世界を破壊しようとして…いる…!」

「なら、俺が止めます。 オーディンの息子としてではなく、カサエルという神で」

「それなら安心…した…なら、これを…使って…止めて…
…くれ。」

「使い方は…はあはあ…この書に…聞けばわかる」

ゼウスはそう言って一冊の書物を渡した。

「そろそろ…迎えが…いたようじゃな…じゃあ、頑張れよ…
…しょ…う…年」

ゼウスはそう言って倒れた。 その顔は…幸せに満ちていた。
その書に一枚の写真があり、その裏を見ると…

【○○○年 12月25日 ゼウス&アレス】

そこにはゼウスと俺とそう変わらない青年が乗っていた。

p i p p i p i p p i p i

そのとき、デバイスに連絡がきた。

「どうしたモリソン？ まだパーティーは終わってないぜ」

『おいダンテ、ふざけている場合じゃないぞ。』

そろそろ建物が崩れるぞ』

やべえ、忘れていた f ^ | ^ ;

「わかった、今すぐ戻る」

連絡をきると、そこいら中に亀裂や亀裂音が響いていた。

「……………ありがとう」

俺は、老人に別れを告げ、建物から脱出した。

次の日、ニュースには新たな部隊ができたニュースが流れており、そこにアレスがいた。

そうして、俺は管理局をやめ、自分の事務所を作った。

名前？ そうだな……………なら

Devil cry night

悪魔が泣き叫ぶ夜

プロローグ？（後書き）

和樹（駄）：今回は恭二無双しました

恭二：そうだな

恭介：やったー！ ついに主役Daaaaaaa！

永嗣：私の活躍ぶりを堪能するがいい

和樹（駄）：大丈夫だ。 お前の出番はそこまでない

永嗣：ナゼDaaaaaaa!!!

恭二・恭介：お前が事態をややこしくするからだ!!!

和樹（駄）：まあまあ、落ち着け。 これからはフェイトやはやての絡みも入ってくるんだし

恭介・永嗣：それは本当？

和樹（駄）：そ、そうだよ（（（；。 （（（ガクガクブルブル

恭介・永嗣：恭二イイイ！

恭二：な、なんだ？

恭介・永嗣：そのポジション代われえええ!!!

恭二：ふざけるな!!!

和樹（駄）：と、とりあえず、次回予告をするか……

今回は、あの空港での戦い！

次回、魔法少女リリカルなのはStrikerS Devilcry night 《セイバーオルタがおしとやかキャラになったらどうする?》

次回も楽しすぎて狂ちまいそうだが

………多分？

キャラクター紹介

主人公（前書き）

頑張りました

キャラクター紹介 主人公

名前：衛宮恭二（えみやきょうじ）

年齢：19歳

身長：182cm

体重：77kg

階級：なし

魔力光：透明

魔力量：E（A）

魔導師ランク：SS+

魔力変換資質：烈火

使用術式：？？？

特技：機会いじり、運転、家事全般、自主トレ

好きなもの：読書、家事全般、自主トレ、機会いじり、面白い石、ストロベリーサンデー、ビザ

嫌いなもの：組織、うるさいやつ、ポイ捨てや食べ物を残す奴

主人公。 自分以外にも人格が二人存在する。

性格は、冷静に物事を対処しようとするも、感情が出てしまいがち。戦闘スタイルは、一撃必殺をする、ごり押し。DFテイルで、アグニ&ルドラを使い、バカ火力で広範囲の殲滅をする。ストロベリーサンデーを食べないと呼吸困難と貧血、失神してしまう

名前：衛宮恭介（えみやきょうすけ）

年齢：19歳

身長：182cm

体重：77kg

階級：なし

魔力光：濃い黄色

魔力量 / : E (A)

魔導師ランク : SS+

魔力変換資質 : 暫雷

使用術式 : ????

特技 : 物事を人に教えてること

好きなもの : 映画鑑賞、読書、日曜大工、フェイト

嫌いなもの…面倒くさいこと、湿っぽい空気、暇を持て余すこと

恭二の人格の一人で、悪魔の力を制御をしている。

性格は、ムードメーカーと永嗣の黙らせ役をする。そしてシリアスムードでいることもある。

フェイトのためだったら、どんなことでもやってのける

戦闘スタイルは、高速戦闘を得意とし、DFテイルでは、ベオウルフ、ネヴァン、アストラルを使い、身体能力を上昇させ、より早く攻撃を仕掛ける

名前…衛宮永嗣（えみやえいじ）

年齢…19歳

身長…182cm

体重…77kg

魔力光…純白と漆黒

魔力量…SSS+

魔導師ランク…SSS

魔力変換資質…光、闇

使用術式…???

特技…読書

好きなもの…道化、はやて

嫌いなもの…自分の思い道理にならないこと、組織、道化、ギルガメッシュ、人参、ピーマン

恭二の人格の一人で、滅多に出されない。一人前は我、神の力を制御し………性格は、簡単に言えばギルガメッシュである。気に入らない者は消し飛ばし、ほしいものだけ得ようとする故に、出すことがない。そしてピーマンや人参などの子供舌。

戦闘スタイルは、有無いわずぶつ放す。

例え、魔力切れになろうとも、魔法を使つてはいけない状況でも…
…口癖は「ルール（法則などなど）は全て我」

DFテイルでは、ルシフェル、ギルガメス、パンドラで、唯一剣ではなく銃？ で、爆発型の大砲や自分には、スラッシュカッターと呼ばれるチャージ可能なエネルギー状のディスクカッターを装備し、広範囲無差別攻撃をやらかすため、恭二と恭介が抑え込んでいる

【デバイス】アクト

恭二が色々の素材や補正を使い、作られたデバイス。半アームドデバイスで、元々六連装だが、無理に十二連装に改造が施されている（永嗣が恭二に無理をいった）

柄の近くにあるバイクのアクセルのようなバーを捻る事で噴射剤が作動する。無理な強化をした推進剤噴射機構は、時折巨大な火炎を噴くイクシードを搭載しており、相当詰め込んでいる。

なぜ半アームドデバイスというかは、たまたまパーワードさんがくれたFテイルとハーフデバイスの設計図（ボロボロの紙）を使い、

Fテイルの機能も残しつつ魔具との融合、DFテイルを使う。
通常

レッドクイーンの色でリベリオンと同じバランスが取れた形になる。

炎帝フォーム

自称炎帝の恭二が主に使うフォーム。レッドクイーンが二本になり、髪が紅く、肩にはイフリート、毛がついたマントがつき、レッドクイーンに炎と風纏われる。
二本をつつけることにより、グラディウスモードとなり砲撃も可能になる。

雷帝フォーム

自称雷帝の恭介が使うフォーム。レッドクイーンを半分にした状態を二本をなり、髪は黄色、軽鎧を装備する。
このフォームでは、マツハ15も出るため、常にラウンドシールド、魔力シールドを張った状態出ないと使えない。
炎帝と同じ剣を二つあわせることにより、フェイトの魔法の一部が使える

書物

名前：創生の書

管理者：お稻荷

ハーデスが（暇だから）作った書物。

書物とは、神力をより効果よく使用するために作られたもので、今ある書物の原点ともなっている。

それを人間でも使えるようにしたのが、夜天の書である。
なぜ管理者がお稲荷様かというヴァールのせいで、たまたまハー
デスがみていた【狼と○辛料】を見て、これだ!!!となり、作ろ
うとしたところヴァールが、狼より狐と【我が○のお稲荷様】を見
せこちらにもこれだ!!!となった結果である。

というか、作者の趣味である。

キャラクター紹介 準主人公と仲間

名前…ガウエイン

年齢…10歳

身長…140cm

体重…39kg

魔力光…紅

魔力量…S+

魔導師ランク…陸戦B

階級…三等陸士。

使用術式…ベルカ式

特技…料理、勉強

好きなもの…料理、勉強、戦闘

嫌いなもの…研究者、違法研究、恭二

稀少能力…悪魔の手
デビルプリンガー

F・A・T・Eプロジェクトで作られた恭二のクローンだが、悪魔

との遺伝子に異常があり左手が悪魔の手デビルプリンガーなつた。

その後、研究場でエリオと出会い、自分のオリジナル…恭二と出会った。

恭介による破壊工作後、フェイトと出会いで養子となる。左手がコンプレックスで、骨折したように包帯が巻かれており、それを知っているのは、クロノ、レティ、リンディ、フェイト、エリオ、キャロだけとなっている。

性格は何事にも無関心だが、関心ができることとことん突き止めようとする、研究者向き。

戦闘スタイルは、左手を使えれば、バスターとガラティーンによるごり押しがメインで、使えない場合は、ガラティーンについているイクシードも使いながら回避をメインとした戦法となる。

【デバイス】

名前：ガラティーン

種類：アームドデバイス

恭介が置いていった設計図を元に作られたデバイス。

アクトと同様にイクシードがついているが、アクトの方が7倍ぐらいある。

稀少能力：悪魔の腕デビルプリンガー

遺伝子の異常により変質した腕。

パワーと防御力が上がっており、パワーではイクシードを使った恭二の攻撃をガラティーンで防ぎ、防御力はヴィータの攻撃を防げる。

今は魔具が入ってないため、バスターしか使えない

仲間

名前… J・D・モリソン

身長…？

体重…？

特技… 機械修理、ダンス、情報収集

好きなこと… 恭二との会話、パスタ

苦手なこと… 戦闘、主役

律儀な性格の情報屋。TVやジュークボックスの修理もこなす器用な男。

実際は元悪魔で、ダンテと交戦をしたこともある。魔帝ムンドウスの命によってミッドチルダの地に襲来したが、悪魔たちが恭二のことをダンテと勘違いをして全滅。

その後、ダンテのところに行ったモリソンの格好をしている。

現在の状況 1 (前書き)

この世界ことを書きました。

また何か合ったら随時書きます。

現在の状況 1

悪魔について

悪魔は、StrikerSが始まる5年前に各種に正体不明の板状が出現、それから謎の生物が発生。ランクA～Sの魔導師が交戦を行い、5人が重軽傷、20人の死者を出す。管理局の研究班の報告によるとA++以上の攻撃でないと効果がないことが判明し、魔導師の実力強化が計れる。

そこで、はやてを部隊長とする機動六課とアレスと呼ばれる男が部隊長とする特務機動部隊が担当する。

悪魔の種類としては、この世界のものに寄生するものと地獄門から出てくるもの種類が確認。

特務機動部隊について

電撃の如く出世したアレスが部隊長とする、最高評議会が絶対的な支持する。管理局を部隊化した部隊。構成員はアレスもふくめ僅か10人で、違法研究所の殲滅や犯罪者の逮捕、ロストロギアの確保などをしている。最高評議会だけではなく他の所からも支持を受ける反面、批判も受けている。

特務機動部隊の構成員については後日知らせる。

Devil Cry nightについて

ミッドチルダのスラム街に出来たオーナーダンテと呼ばれるものがあるレストラン。だが、噂では便利屋としてやっていることがあると報告されているが定かではない。

そこに近寄り子供の情報によると白銀の髪に紅いコート、緑と赤の

オッドアイの男がダンテと呼ばれる人物だと推測でき、それは六年前にアレスが入ってから止めた衛宮恭二と特徴が一致している。他にも長い銀髪と深紅の瞳が印象的な若い女性や狐の使い魔などがかくにんされている。

現在の状況 1 (後書き)

何もありません

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n4970z/>

魔法少女リリカルなのはStrikerS Devil cry night

2011年12月18日01時49分発行